

打ち放し用撥水剤
(含浸コート+TOPコート仕様)

OSHIROX

UVカット超低汚染クリアコート

打ち放しコンクリート保護工法

OXC-WF工法プレミア

オプション仕様

マイクロクラック追随仕様を
組み入れることも可能

コンクリート
専用

超低汚染

UVカット

雨水による
セルフクリーニング

高耐久性
高耐候性

環境に配慮

臭いが
ほとんどない

含浸シリカコート
シランシロキサン

水溶性フッ素コーティング

OSHIROXコート

OSHIROXステインプロテクターWFプレミア

塗膜下含浸シリカコートシランシロキサン

ホルムアルデヒド
放散等級 F★★★★

日装検第17014号

OXC-WF

OSHIROXステインプロテクターWFプレミア

塗膜下含浸シリカコートシランシロキサン

水溶性フッ素コーティング

OXC-WF

ステインプロテクターWFプレミアはフッ素樹脂および無機系シリカ変性シリコン複合樹脂を主成分とした水溶性の塗膜型汚れ防止剤です。コンクリートおよび石材に塗布することで極めて耐久性・耐候性の高い塗膜を形成します。

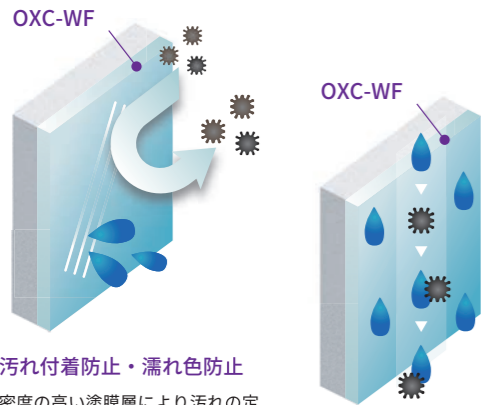
ステインプロテクターWFプレミアは親水性コートであるため撥水性はありませんが、付着した汚れは雨と共に流れていき、未永くコンクリートおよび石材の美観を保つことが出来ます。

またステインプロテクターWFプレミアは環境に配慮した製品であり、環境への負荷や臭いがほとんど無く、臭いの発生などが強く制限された現場でもご使用頂けます。

塗膜型 超低汚染コーティング

非常に高いレベルでの親水性・密着性を発揮し、汚れをの定着を防ぎます。

超低汚染コーティングの効果



汚れ付着防止・濡れ色防止

密度の高い塗膜層により汚れの定着を防ぎ、コンクリートに対して高い密着性を有しているため吸水に起因する濡れ色を防止します。

雨で汚れを落とす効果

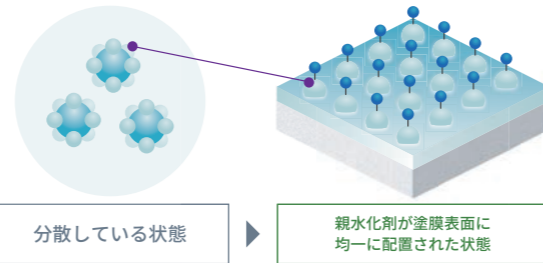
汎用コート剤の塗膜は雨水だけをはじき汚れを落としますが、ステインプロテクターWFプレミアは高い親水性により、雨水が塗膜となじむことで汚れを洗い流す効果があります。

雨水によるセルフクリーニング機能。

超低汚染のメカニズム

親水性

分散していた、親水化剤が塗膜全体に配置されることにより、密度の高い親水性塗膜表面を形成し、汚れの付着を防ぐ「超低汚染性効果」を発揮します。

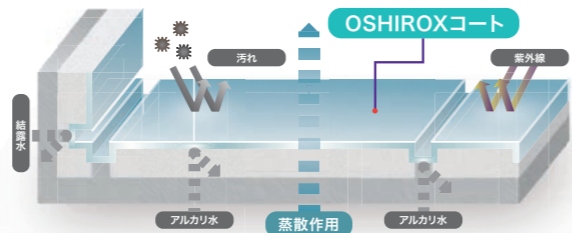


低帯電性

汚れの原因となる静電気。ステインプロテクターWFプレミアは塗布面の表面抵抗を低くし、帯電を抑え、静電気による汚れの付着を防ぎます。

コンクリートに対する高い密着性・高架橋密度

ステインプロテクターWFプレミアは、コンクリートに対して密度の高い塗膜層を形成し汚れの定着を防ぎます。また高い密着性を有しているため、吸水に起因する濡れ色を防止します。

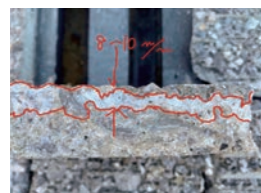


弊社の含浸性コート剤

弊社の含浸性コート剤の塗布を行いますと高い吸水防止効果が得られます。

また、コンクリートに含浸層が形成されることにより、内側からの水分移動が軽減されエフロレッセンス(白華)の発生及びコンクリートの中性化が抑制されます。さらに含浸性コート剤がコンクリート間の密度を向上させて緻密にすることでコンクリート自体の強度を高めます。

塗膜下に含浸させるシリカコートはシランシロキサン統合の高性能含浸剤を使用しコンクリートの中性化、塩化物イオンの侵入を遮断し、躯体鉄筋を長期に渡り守ります。



含浸シリカコート含浸の深さ画像



含浸シリカコート含浸の深さ画像

ホルムアルデヒドを含まない

ホルムアルデヒド放散量が検出限界値以下(0.030 mg/L)であり、ホルムアルデヒドを含んでいません。よって外壁だけでなく内壁にも安心して使用していただけます。

超低汚染性

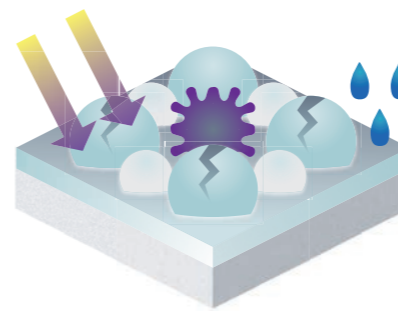
超低汚染性で汚れが付着しにくく、付着しても水洗いなどで簡単に除去できます。また耐洗浄性に優れているため、洗浄により塗膜が劣化する心配がありません。



高耐久性・高耐候性

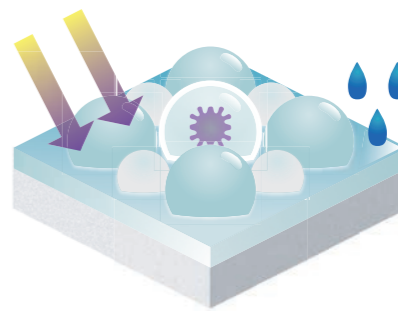
優れた耐久性・耐候性でコンクリートを塩害・中性化などのトラブルから保護します。

汎用コート剤



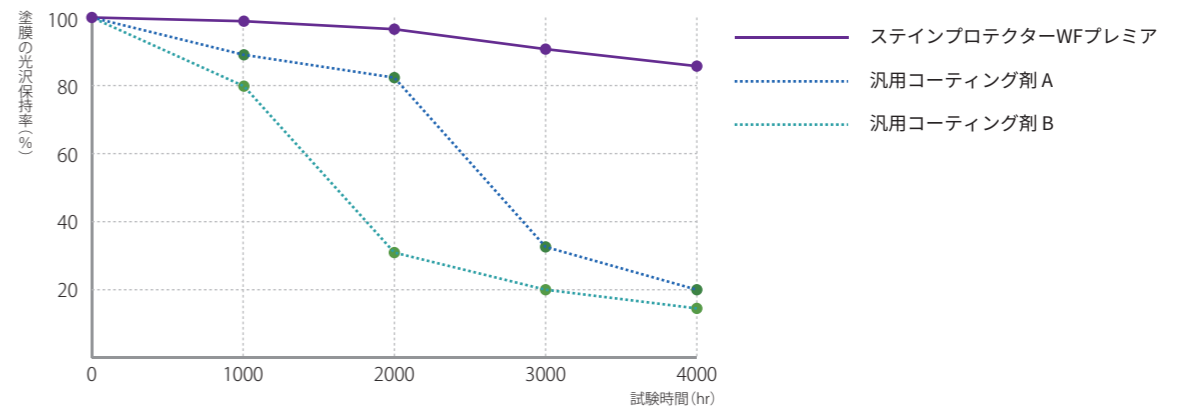
紫外線・水・酸素・二酸化炭素などの影響を受けると、塗膜内に劣化因子が発生し、周囲の塗膜組織を破壊させてしまいます。

ステインプロテクターWFプレミア



ステインプロテクターWFプレミアは、塗膜を形成し、劣化因子の発生を抑制します。劣化の進行を抑え高耐久性・高耐候性を高め、コンクリートをトラブルから保護します。

耐候性試験



環境に配慮

負荷や臭いがほとんど無く、臭いの発生などが強く制限された現場でもご使用頂けます。

通気性を保持

ステインプロテクターWFプレミアは、撥水性がありながら通気性を保持しています。気体となった湿気などがコンクリート内部に溜まることはありません。

風合いをそのままに

ペンキなどのように覆いかぶせるものとは異なり、コンクリートの風合いや個性を損なわない仕上がりになります。

OSHIROXステインプロテクターWFプレミア

塗膜下含浸シリカコートシランシロキサン

水溶性フッ素コーティング

OXC-WF

カラークリア色見本

標準色



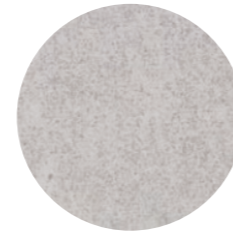
OX-1/FG-1



OX-2/FG-2

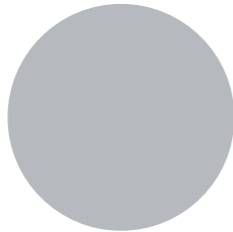


OX-3/FG-1

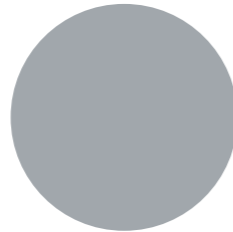


OX-4/FG-2

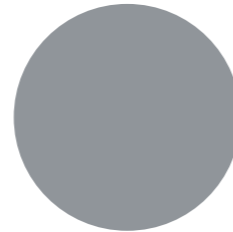
標準色(Pコン跡)



PX-01



PX-01



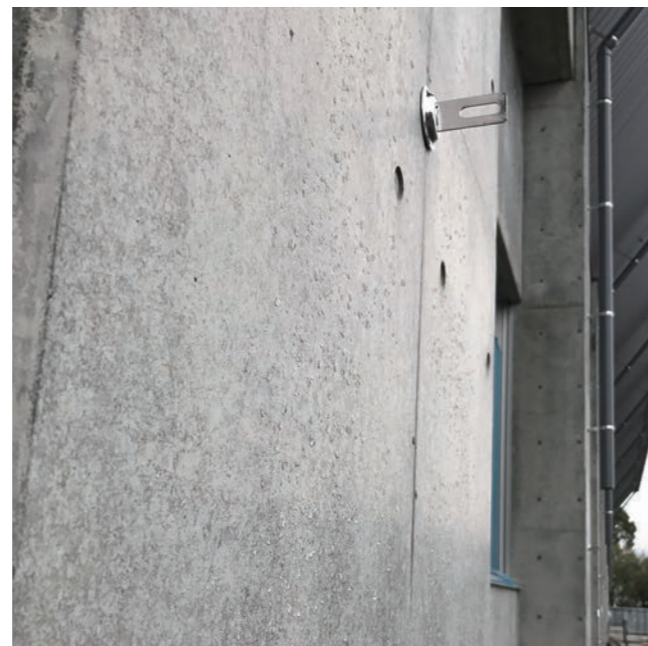
PX-01

躯体の色斑調整(パタパタ)は必ず、塗膜1回目の後行ってください。

躯体に含浸剤が無い状態で直接色斑調整を行うと、経年で色斑調整部分が躯体から水蒸気として蒸散した水分の影響でチョーキングを起します。

また塗膜1回目に行う事で色斑調整極薄塗膜をトップの塗膜と中塗り塗膜で挟むことで色斑調整塗膜を保護いたします。

施工事例



施工実績

- 大阪重粒子線センター
- オーテピア高知図書館
- 山口県周南市新庁舎
- 鳥取中央病院
- 広島修道大学付属鈴峰中学校高等学校
- 大阪府南警察署島之内別館
- 高知市庁舎
- 岡山県警本部
- 東京都世田谷区桜新町1丁目計画
- 四国水族館
- 住友化学LNG基地
- 京都産業大学新キャンパス
- 山陽放送株式会社
- 東京都港区南青山プロジェクト
- 京都産業大学新キャンパス
- 大手前大学さくら夙川キャンパス
- 東京成徳短期大学附属幼稚園
- 湖北広域行政事務センター新斎場整備運営事業
- その他多数

OSHIROXステインプロテクターWFプレミア

塗膜下含浸シリカコートシランシロキサン

水溶性フッ素コーティング

OXC-WF

標準施工仕様

現場打ち RC

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	■下地はよく乾燥させ、含水率8%以下、pHは10以下としてください。 ■付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							
下塗り	OXC-FD	既調合	0.10~0.13	1~2	0.3h以上	12h以上 3d以内	-	ローラー・刷毛 エアスプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
上塗り	OXC-WPM	0~5	0.12~0.15	2	3h以上	3h以上 7d以内	24h以上	ローラー・刷毛 エアスプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	OXC-WF	0~5	0.08~0.10					

プレキャストコンクリート

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	■下地はよく乾燥させ、含水率8%以下、pHは10以下としてください。 ■付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							
下塗り	OXC-FD	既調合	0.10~0.13	1~2	0.3h以上	12h以上 3d以内	-	ローラー・刷毛 エアスプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
中塗り	OXC-CWP	0~5	0.10~0.13	1	-	3h以上 7d以内	-	
上塗り	OXC-WPM	0~5	0.12~0.15	2	3h以上	3h以上 7d以内	24h以上	ローラー・刷毛 エアスプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	OXC-WF	0~5	0.08~0.10					

ECP (セメント成型板)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	■下地はよく乾燥させ、含水率8%以下、pHは10以下としてください。 ■付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							
下塗り	OXC-CWP	既調合	0.18~0.25	2	-	3h以上 7d以内	-	
上塗り	OXC-WPM	0~5	0.12~0.15	2	3h以上	3h以上 7d以内	24h以上	ローラー・刷毛 エアスプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	OXC-WF	0~5	0.08~0.10					

カラークリア

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	■下地はよく乾燥させ、含水率8%以下、pHは10以下としてください。 ■付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							
下塗り①	OXC-FD	既調合	0.10~0.13	1~2	0.3h以上	12h以上 3d以内	-	ローラー・刷毛 エアスプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
下塗り②	OXC-CWP	0~5	0.10~0.13	1	-	3h以上 7d以内	-	
上塗り	OXC-WCC	0~5	0.10~0.12	2	3h以上	3h以上 7d以内	24h以上	ローラー・刷毛 エアスプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	OXC-WF	0~5	0.08~0.10					

※カラークリアーの躯体への吸い込みムラ防止の為、OXC-CWPをカラークリアーの前に必ず塗布してください。

オプション

OSHIROX 超低汚染シリカコート (OXC-Si)

【製品概要】

OSHIROX 超低汚染シリカコートは、水性一液親水性コーティング剤です。OSHIROX コーティングの仕上げとして塗布することで、塗装面に超親水性能を付与し、表面の汚れが雨で流れやすくなるため、雨筋などの汚れを低減し、塗装面の美観を長期にわたって保護します。



各工程の素地調整後・下塗り前のオプションとして

OXC-W-102

マイクロクラック追随仕様 OXC-W-102 ケイ酸カリウム複合反応型コーティング剤

浸透型

OXC-W-102はコンクリートの中の水酸化カルシウムとの反応によりC-S-Hゲルを生成して、コンクリート中の空気を充てんする。未反応のまま残存している主成分が乾燥により析出しても、水分が供給されると再度溶解し、水酸化カルシウムとの反応を有する。改質効果を発現させるためには、材料を溶解状態にしておく必要があり、養生期間中はコンクリートを湿潤状態に保つことを必要とする。

■上塗り剤は、合計0.20~0.25kg/m²使用してください。

■下地により塗布量が変わる場合がございます。

■打放しコンクリート以外の下地に関しては念のため当社にご相談ください。

躯体の色斑調整(パタパタ)は必ず、塗膜1回目の後行ってください。
躯体に含浸剤が無い状態で直接色斑調整を行うと、経年で色斑調整部分が躯体から水蒸気として蒸散した水分の影響でチョーキングを起します。
また塗膜1回目を行う事で色斑調整極薄塗膜をトップの塗膜と中塗り塗膜で挟むことで色斑調整塗膜を保護いたします。

製品性状

製品名 ステインプロテクターWFプレミア

外観 ややエステル臭の白濁溶液

主成分 フッ素樹脂

貯蔵性 12ヶ月(30℃以下密閉状態で保管)

用途 コンクリートの防汚および保護

荷姿

ステインプロテクターWFプレミア
15kg入角缶

洗浄方法

躯体に付着している泥汚れ、油汚れ、スケールなどを汚れに適した弊社洗浄剤で取り除き、丁寧に水洗いしてください。

乾燥

洗浄後に躯体表面の水分を拭き取ります。完全に乾燥させてから施工することをお勧めいたします。雨天時は施工しないでください。

使用方法

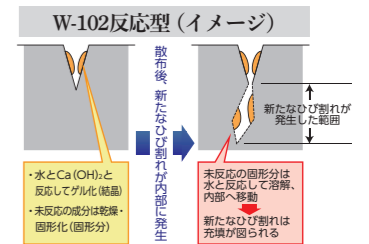
・ローラー、またはスプレーなどで躯体へ塗布してください。

・季節にもよりますが1~4時間程度で乾燥します。

・そのまま乾燥させます。

使用上の注意

- ご使用に際してはマニュアルをよくお読みください。
- 躯体の泥汚れ、油汚れ、スケールはコーティングの浸透及び密着を阻害するため、必ず弊社洗浄剤で洗浄し、よく乾燥させてから使用してください。
- 作業中はゴム手袋および眼鏡を着用し、特に目に入らないように注意してください。
- 万が一目に入った場合には直ちに多量の水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 水で希釈せずに使用してください。
- 色相の変化を見るために必ずサンプルにて試し塗りを行ってください。
- 硬化時間は、溶媒の揮発が終了すると少しずつ硬化していきますが、気温によって多少異なります。
- 30℃以下の冷暗所で密閉状態で保管してください。
- 容器のキャップは、商品の取り扱い時以外はしっかりと締めて保管してください。
- 必要量だけ容器から取り出し、使用した残りは容器に戻さないでください。
- 他社製品と併用により本製品の性能が十分発揮されないため他社製品との併用はおやめください。
- 使用した器具は水や中性洗剤などで十分に洗浄してください。
- 施行箇所周辺に樹木や草花がある場合には、製品が飛散しないようにしてください。
- ご使用上の注意および詳細は安全データシート(SDS)をご参照ください。



株式会社OSHIROX

お問い合わせ先(本社・ショールーム)

〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋4-1-55

TEL : 06-6690-7372 / FAX : 06-6690-7373

info@oshirox.jp

<http://oshirox.jp/>

製造元・工場

〒653-0032 神戸市長田区苅藻通1-3-17

TEL : 078-671-1641 / FAX : 078-671-1643

